

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策名称	2	子育て環境の確保		
施策の方向性	●安心して子育てができるよう、親子で過ごせ、情報交換できる交流の場を確保するなど、子育て家庭を支援する環境づくりを行います。 ●子育て支援メニューを充実させ、仕事と子育ての両立等を支援する環境づくりに取り組みます。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	待機児童数	人	目標値		0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	1		
			達成状況		達成	達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

平成30年4月に待機児童が出てしまい、目標を達成できませんでした。保育所の建替え及び小規模保育所の新設等で、毎年、定員増を図ってきましたが、入所希望者が定員計画を上回るペースで増え、潜在的な待機児童も、毎年増加しています。

・評価及び対応方針

潜在的な待機児童も含め、定員120名の保育所の新設を計画し、令和2年4月開園を目標に、新しい保育園の建設を進めています。

作成担当部長 福祉保健部長 山西 仁子

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値未達成ですが、令和2年度に保育園を新設予定です。目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務事業計画	1	地域子育て支援拠点事業	16, 222
		2	病児・病後児保育事業	17, 105
		3	プラチナ保育支援事業	3, 210
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政計画	1	保育所施設整備助成事業	15, 621
		2	保育所一般事務事業	519
		3	私立保育所保育運営委託事業	964, 506
		4	施設型給付・地域型保育給付事業	316, 538
		5	保育対策等促進事業	34, 474
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				1, 368, 195

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	地域子育て支援拠点事業	事業番号	132101
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2 子育て環境の確保		

2. 事業概要

「地域子育て支援センター」及び児童センター「バンビーズ」及び「ハッピーズ」を拠点に、オープンスペース、子育て広場、育児相談、つどいの広場（出前講座）等様々な事業を実施し、安心して子育てができるよう地域に根差した子育て支援を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 出前講座（交流センターや公民館など町内10か所）や育児講座、育児相談、絵本の貸出しなどを年間を通じて実施し、育児不安の緩和や子どもの健やかな育ちを支援するため、府中ひかり保育園地域子育て支援センターと若竹保育園地域子育て支援センターに対して補助金を交付します。 ○ 「地域子育て支援センター」・「バンビーズ」・「ハッピーズ」を拠点に、子育てイベントを実施します。	○ 出前講座について、年間183回開催しました。（府中ひかり保育園） ・ 90回開催 延べ4,232人参加 ・ 補助金額7,951,000円 （若竹保育園） ・ 93回開催 延べ5,005人参加 ・ 補助金額7,951,000円 ○ バンビーズにて、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを実施しました。（参加者数272人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	つどいの広場（出前講座）の参加者数	人	目標値	8,600	8,600	8,600	8,600	8,600
			実績値	8,881	9,371	9,237		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		未就学児親子の交流・情報交換の場の提供が目的のため、つどいの広場の参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	16,004	5,334	5,334	0	0	5,336
決算	16,222	5,400	5,400	0	0	5,422

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

出前講座は町内各所で開催され、専門の保育士に子育てに関する相談ができるほか、情報収集の場としても利用されることから、参加者も増加傾向にあります。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

地域に開かれた子育てのイベントに積極的に参加してもらえよう、周知の方法を検討します。

作成担当課長

子育て支援課長 新見 公平

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

つどいの広場(出前講座)については、広報ふちゅうに掲載しているため、子育て支援センターの利用者のリピーターだけでなく、転入母子など新規の参加者もあることで増加傾向にあり、事業目標も達成しています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

地域子育て支援拠点事業は、子育て支援センターだけでなく、児童センターにおいても実施しており、町内4箇所の拠点に併せて、出前講座を町内各所で実施しています。保護者の子育て支援ニーズに応えられるよう、回数又は会場の増加を検討します。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	病児・病後児保育事業	事業番号	132102
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2 子育て環境の確保		

2. 事業概要

病気又は病後の子ども（生後6か月から小学校6年生まで）を、小児科医院内の病児保育室において一時的に預かり、育児と就労の両立支援を行います。また、新たに、送迎サービス（保育所等利用中に体調不良となった子どもを保護者の代わりに病児保育室の職員が迎えに行き、病児保育室において一時的に預かるサービス）を開始します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 病気により保育所等での集団生活が困難であり、かつ保護者が仕事や疾病などやむを得ない理由により、家庭で保育を行うことが困難な小学校6年生までの子どもを、向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、一時的に預かります。 ○ 保育所等で子どもが体調を崩した際、保護者からの依頼を受けた病児保育室の看護師、保育士が、保護者の代わりに保育所等まで迎えに行き、病児保育室で一時的に預かる送迎サービスを新たに開始します。 ○ 広域利用協定により他市町の病児保育室を利用した子どもに係る負担金を支払います。	○ 向洋こどもクリニック内の「病児保育室ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育を行い、延べ812人（町内利用数470人、町外利用数342人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは、9件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室について、251人の利用がありました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	利用者数	人	目標値	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
			実績値	1,275	1,282	1,063		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		保護者の子育てと就労の両立を支援する事業のため、利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	17,989	5,509	5,509	0	1,323	5,648
決算	17,015	5,508	5,227	0	1,743	4,537

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析 （事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 目標値に対して利用者数が前年度よりも減少しており、未達成となっていますが、多くの保護者に認知されている事業ではあります。											
・ 評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">事業効果</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">高</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">事業改善</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">高</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">今後の方向性</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
・ 評価を踏まえた対応方針 新規に送迎サービスが始まるにあたり、広報掲載、保育園・幼稚園へチラシの配布、新聞・テレビでの報道など、広く周知されましたが、今後も更に周知されるよう努力します。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">作成担当課長</td> <td colspan="5">子育て支援課長 新見 公平</td> </tr> </table>						作成担当課長	子育て支援課長 新見 公平				
作成担当課長	子育て支援課長 新見 公平										

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析 （事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 圏域で見ても利用者の多い病児室ではありますが、事業目標数値が、開室日の全日に定員数が利用した場合の数値であるため、未達成となりました。利用者数は、感染症の流行する時期など季節でばらつきがあり、開所日にバランスよく利用してもらうことは難しい課題であると思われます。											
・ 評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">事業効果</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">高</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">事業改善</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">高</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">今後の方向性</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
・ 評価を踏まえた対応方針 送迎サービスの新規事業については、新聞・テレビで報道されるなど、広く周知されましたが、町内の新たな利用者を開拓するため、さらに広報の充実を図ります。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">作成担当部長</td> <td colspan="5">福祉保健部長 山西 仁子</td> </tr> </table>						作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子				
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子										

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、事業の一定程度の周知は図ることができています。感染症の流行する時期など季節により利用者数が増減する点に留意しつつ、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	プラチナ保育支援事業	事業番号	132104
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2 子育て環境の確保		

2. 事業概要

保育所等に代わって、近居（同居）の祖父母（プラチナ世代）が児童を保育する場合に、保育手当を支給します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 家庭において必要な保育を受けることが困難な児童を保護者に代わって保育する祖父母等に対し、保育手当（児童1人につき月額15,000円）を支給します。（支給見込18人／月） また、実態調査として家庭訪問を行います。	○ 保育所等に預けず、保護者に代わり祖父母等に孫等の保育をしてもらうプラチナ保育の手当ての支給を行い、合計3,210,000円を支給しました。（実利用者数26人） また、家庭訪問は実施できませんでした。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	年間保育所入所率	%	目標値	118	118	115	115	115
			実績値	115	115	117		
			達成状況	達成	達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		近居の祖父母等が保育所に代わって保育することで保育所入所抑制につなげるため、年間保育所入所率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	3,240	0	0	0	0	3,240
決算	3,210	0	0	0	0	3,210

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

未達成ではありますが、目標はほぼ達成しました。回を追うごとに申請者も増加し、注目されていることが伺えます。また、保育所の入所申請に来た人にも案内をしています。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

2歳児までの保育所入所の枠が少ない中、乳児を抱えて働く保護者にとって祖父母等の協力があることで安心して就労でき、また祖父母等も孫を保育することで活気あふれる生活を送ることができる等、双方にとってメリットがあるため、継続して実施します。

作成担当課長

福祉保健部次長 新見 公平

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標はほぼ達成しました。入所申請に来た人にも案内していることもあり、申請者も増加しています。制度開始から3年目となり、新しい保育の選択肢として認知されつつあります。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

2歳児までの保育所入所の枠が少ない中、乳児を抱えて働く保護者にとって祖父母等の協力があることで安心して就労でき、また祖父母等も孫を保育することで活気あふれる生活を送ることができる等双方にとってメリットがあるため、継続して実施します。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は80%を超えていることから、概ね達成と見なします。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。